



平成 24 年 2 月 13 日

各 位

会 社 名 協同飼料株式会社
代表者名 代表取締役社長 林 泰 正
(コード番号 2052 東証第一部)
問合せ先 執行役員経理部長 大 友 彰
(TEL. 045-461-5711)

(訂正) 「平成 22 年 3 月期 第 1 四半期決算短信」
の一部訂正について

当社は、本日付「過年度決算短信等の一部訂正に関するお知らせ」で開示いたしましたとおり、
過年度の決算を訂正することといたしました。

このため、平成 21 年 7 月 31 日に発表いたしました「平成 22 年 3 月期 第 1 四半期決算短信」の
記載内容を訂正いたしましたのでお知らせいたします。

訂正箇所が多数であるため、訂正前及び訂正後の全文をそれぞれ添付し、訂正箇所には下線____
を付して表示しております。



平成 22 年 3 月期 第 1 四半期決算短信

平成 21 年 7 月 31 日

上場会社名 協同飼料株式会社

上場取引所 東

コード番号 2052 URL <http://www.kyodo-shiryo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 村井 弘一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 大友 彰 TEL 045-461-5711

四半期報告書提出予定日 平成 21 年 8 月 12 日

配当支払開始予定日 -

(百万円未満切捨て)

1. 平成 22 年 3 月期第 1 四半期の連結業績 (平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 6 月 30 日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22 年 3 月期第 1 四半期	29,553	△18.0	737	34.1	589	5.7	216	△29.5
21 年 3 月期第 1 四半期	36,061	-	550	-	557	-	307	-

	1 株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22 年 3 月期第 1 四半期	2.18	-
21 年 3 月期第 1 四半期	3.09	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1 株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22 年 3 月期第 1 四半期	45,439	13,173	29.0	132.43
21 年 3 月期	45,894	13,134	28.6	132.04

(参考) 自己資本 22 年 3 月期第 1 四半期 13,170 百万円 21 年 3 月期 13,131 百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1 株当たり配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21 年 3 月期	-	-	-	3.00	3.00
22 年 3 月期	-	-	-	-	-
22 年 3 月期 (予想)	-	-	-	3.00	3.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無: 無

3. 平成 22 年 3 月期の連結業績予想 (平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)

(%表示は通期は対前期、第 2 四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第 2 四半期 連結累計期間	61,000	△16.8	600	-	500	-	300	-	3.02
通 期	125,000	△11.8	1,800	139.2	1,600	63.7	800	64.4	8.04

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無: 無

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） 無
新規 一社（社名 ） 除外 一社（社名 ）
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
(注)詳細は、4 ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更（四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの）
① 会計基準等の改正に伴う変更 無
② ①以外の変更 有
(注)詳細は、4 ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (4) 発行済株式数（普通株式）
- | | | | | |
|---------------------|-------------|--------------|-------------|--------------|
| ①期末発行済株式数(自己株式を含む) | 22年3月期第1四半期 | 103,995,636株 | 21年3月期 | 103,995,636株 |
| ②期末自己株式数 | 22年3月期第1四半期 | 4,547,246株 | 21年3月期 | 4,547,925株 |
| ③期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 22年3月期第1四半期 | 99,448,028株 | 21年3月期第1四半期 | 99,551,167株 |

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- (1) 平成22年3月期の連結業績予想は平成21年5月12日に公表したとおりです。
- (2) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年6月30日）のわが国経済は、世界経済の減速を受けて、企業業績は大幅に落ち込み、設備投資の減少や雇用情勢の悪化など、依然として厳しい状況が続いています。

飼料畜産業界におきましては、配合飼料の主要原料であるとうもろこしは、新穀の作付け遅れや米国穀倉地帯の長雨等を材料にした投機筋の資金流入により相場は期央に再び上昇し、海上運賃も堅調に推移いたしました。一方、外国為替市場は円高傾向が継続しています。

畜産物につきましては、鶏卵・豚肉・牛肉相場は、いずれも低迷しました。

こうした環境にあつて当社グループは、畜産生産者の皆様の生産性に貢献する価値ある製品及び関連技術の開発に注力し、肉牛用飼料・豚用飼料を中心に販売数量の拡大を図りました。

しかしながら、配合飼料価格を本年1月に続き4月も値下げしたことから、売上高は295億5千3百万円（前年同期比18.0%減）となりましたが、営業利益は7億3千7百万円（前年同期比34.1%増）、経常利益は5億8千9百万円（前年同期比5.7%増）と、いずれも増益となりました。また、当四半期純利益は2億1千6百万円（前年同期比29.5%減）を計上しました。

事業別の状況は、以下の通りです。

飼料事業

飼料事業では、配合飼料の販売数量は肉牛用飼料・豚用飼料・水産用飼料等を中心に増加しましたが、売上高は、配合飼料価格を値下げしたことから、前年同期比19.6%減の204億1千6百万円となりました。しかし営業利益は、8億6千9百万円（前年同期比23.9%増）と増益を果たすことができました。

畜産物事業

畜産物事業では、豚肉や鶏卵を中心に畜産物相場が軟調に推移したことから、売上高は前年同期比14.5%減の91億3千6百万円となり、営業利益は1億2千9百万円（前年同期比14.8%減）と減益になりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の財政状況を前期末と比べますと、配合飼料製品価格が本年1月に続き4月も値下げしたことにより受取手形及び売掛金が2億3千3百万円減少しました。さらに、原材料及び貯蔵品等のたな卸資産が2億3百万円減少したこと等により、総資産は4億5千4百万円減少して、454億3千9百万円となりました。一方、負債は、短期借入金及び長期借入金あわせて15億9千8百万円減少したこと等により、322億6千6百万円となりました。純資産は3千9百万円増加して、131億7千3百万円となりました。

(2) 連結キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当四半期純利益5億8千9百万円及び減価償却費2億3千5百万円等により、18億3千5百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、設備投資に伴う固定資産の取得1億5千8百万円等により、1億6千6百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の減少12億3千万円、配当金の支払2億3千3百万円等により、17億2千7百万円の支出となりました。

これらの結果、現金及び現金同等物期末残高は、5億6千1百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期の連結業績予想は平成21年5月12日に公表したとおりです。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 簡便な会計処理

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

②繰延税金資産の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等及び一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

③固定資産の減価償却費の算定方法

連結子会社においては、固定資産の年度中の取得、売却又は除却等の見積りを考慮した予算に基づく年間償却予定額を期間按分する方法によっております。

なお、定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

2. 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用の計算

当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

1. 会計基準等の改正に伴う変更

該当事項はありません。

2. 1以外の変更

為替差額の計上方法について

「為替差額」については、従来、営業外損益に計上しておりましたが、売上原価をより適切に表示するため、当第1四半期連結会計期間より売上原価として計上する方法に変更しております。

これにより、従来の方法と比べ、売上原価が12百万円増加し、売上総利益及び営業利益がそれぞれ12百万円減少しております。なお、経常利益及び税金等調整前四半期純利益には影響はありません。

セグメント情報に与える影響については、当該箇所に記載しております。

5. 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	579	634
受取手形及び売掛金	20,392	20,625
商品及び製品	643	704
仕掛品	423	512
原材料及び貯蔵品	2,720	2,774
繰延税金資産	62	57
短期貸付金	363	339
その他	1,121	1,045
貸倒引当金	△42	△45
流動資産合計	26,264	26,647
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,183	2,195
機械装置及び運搬具(純額)	2,638	2,766
土地	2,718	2,718
建設仮勘定	202	101
その他(純額)	209	203
有形固定資産合計	7,953	7,985
無形固定資産		
その他	325	325
無形固定資産合計	325	325
投資その他の資産		
投資有価証券	3,877	3,762
長期貸付金	3,980	4,033
長期未収入金	4,560	4,174
破産更生債権等	545	541
繰延税金資産	2,415	2,523
その他	533	550
貸倒引当金	△5,015	△4,651
投資その他の資産合計	10,896	10,935
固定資産合計	19,175	19,246
資産合計	45,439	45,894

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,439	10,356
短期借入金	7,361	8,568
未払法人税等	369	132
賞与引当金	469	310
その他	3,922	3,131
流動負債合計	22,561	22,500
固定負債		
長期借入金	8,311	8,702
退職給付引当金	1,167	1,220
役員退職慰労引当金	138	265
その他	86	71
固定負債合計	9,704	10,259
負債合計	32,266	32,760
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,199	5,199
資本剰余金	4,947	4,947
利益剰余金	3,415	3,497
自己株式	△458	△458
株主資本合計	13,104	13,186
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	64	△62
繰延ヘッジ損益	1	6
評価・換算差額等合計	66	△55
少数株主持分	3	3
純資産合計	13,173	13,134
負債純資産合計	45,439	45,894

(2) 【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	36,061	29,553
売上原価	32,815	25,849
売上総利益	3,245	3,703
販売費及び一般管理費	2,695	2,965
営業利益	550	737
営業外収益		
受取利息及び配当金	65	36
その他	133	65
営業外収益合計	199	101
営業外費用		
支払利息	92	80
持分法による投資損失	37	90
その他	62	78
営業外費用合計	191	250
経常利益	557	589
税金等調整前四半期純利益	557	589
法人税等	250	372
少数株主利益	0	0
四半期純利益	307	216

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	557	589
減価償却費	219	235
引当金の増減額 (△は減少)	178	339
持分法による投資損益 (△は益)	37	90
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,704	△174
たな卸資産の増減額 (△は増加)	133	203
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,452	82
法人税等の支払額	△148	△118
その他	48	587
営業活動によるキャッシュ・フロー	△226	1,835
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△141	△158
有形及び無形固定資産の売却による収入	2	2
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
投資有価証券の売却による収入	—	9
短期貸付金の純増減額 (△は増加)	△5	△25
長期貸付けによる支出	△17	△60
長期貸付金の回収による収入	62	71
その他	△2	△3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△104	△166
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,370	△1,230
長期借入れによる収入	—	300
長期借入金の返済による支出	△752	△668
自己株式の売却による収入	—	0
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△224	△233
その他	0	104
財務活動によるキャッシュ・フロー	393	△1,727
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	62	△58
現金及び現金同等物の期首残高	491	619
現金及び現金同等物の四半期末残高	554	561

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

	飼料事業 (百万円)	畜産物事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	25,381	10,679	36,061	—	36,061
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	7	—	7	(7)	—
計	25,388	10,679	36,068	(7)	36,061
営業費用	24,687	10,527	35,214	296	35,511
営業利益(又は営業損失)	701	152	854	(304)	550

(注) 1. 事業区分は、製品・商品の種類及び性質を考慮した売上集計区分によっております。

2. 各事業の主要な製品・商品は下記のとおりであります。

飼料事業…鶏用・牛用・豚用・魚用飼料及びその他飼料等

畜産物事業…鶏卵・鶏肉・牛肉・豚肉・畜肉加工品及び加工卵等

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

	飼料事業 (百万円)	畜産物事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	20,416	9,136	29,553	—	29,553
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	11	—	11	(11)	—
計	20,428	9,136	29,564	(11)	29,553
営業費用	19,558	9,006	28,565	250	28,815
営業利益(又は営業損失)	869	129	999	(261)	737

(注) 1. 事業区分は、製品・商品の種類及び性質を考慮した売上集計区分によっております。

2. 各事業の主要な製品・商品は下記のとおりであります。

飼料事業…鶏用・牛用・豚用・魚用飼料及びその他飼料等

畜産物事業…鶏卵・鶏肉・牛肉・豚肉・畜肉加工品及び加工卵等

3. 「為替差額」については、従来、営業外損益に計上しておりましたが、当第1四半期連結会計期間より、売上原価に計上する方法に変更しております。これにより、飼料事業セグメントの営業利益が12百万円減少しております。

【所在地別セグメント情報】

本邦以外の国又は地域に所在する在外支店及び連結子会社がないため該当事項はありません。

【海外売上高】

海外売上高が連結売上高の10%未満であるため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。



平成 22 年 3 月期 第 1 四半期決算短信

平成 21 年 7 月 31 日

上場会社名 協同飼料株式会社

上場取引所 東

コード番号 2052 URL <http://www.kyodo-shiryo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 村井 弘一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 大友 彰 TEL 045-461-5711

四半期報告書提出予定日 平成 21 年 8 月 12 日

配当支払開始予定日 -

(百万円未満切捨て)

1. 平成 22 年 3 月期第 1 四半期の連結業績 (平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 6 月 30 日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22 年 3 月期第 1 四半期	29,553	△18.0	737	34.1	589	5.7	216	△29.5
21 年 3 月期第 1 四半期	36,061	-	550	-	557	-	307	-

	1 株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22 年 3 月期第 1 四半期	2.18	-
21 年 3 月期第 1 四半期	3.09	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1 株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22 年 3 月期第 1 四半期	44,847	12,581	28.0	126.48
21 年 3 月期	45,302	12,541	27.7	126.08

(参考) 自己資本 22 年 3 月期第 1 四半期 12,578 百万円 21 年 3 月期 12,538 百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1 株当たり配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21 年 3 月期	-	-	-	3.00	3.00
22 年 3 月期	-	-	-	-	-
22 年 3 月期 (予想)	-	-	-	3.00	3.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無: 無

3. 平成 22 年 3 月期の連結業績予想 (平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)

(%表示は通期は対前期、第 2 四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第 2 四半期 連結累計期間	61,000	△16.8	600	-	500	-	300	-	3.02
通 期	125,000	△11.8	1,800	139.2	1,600	63.7	800	64.4	8.04

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無: 無

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） 無
新規 一社（社名 ） 除外 一社（社名 ）
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
（注）詳細は、4 ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更（四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの）
① 会計基準等の改正に伴う変更 無
② ①以外の変更 有
（注）詳細は、4 ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (4) 発行済株式数（普通株式）
- | | | | | |
|----------------------|------------------|---------------|------------------|---------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 22 年 3 月期第 1 四半期 | 103,995,636 株 | 21 年 3 月期 | 103,995,636 株 |
| ② 期末自己株式数 | 22 年 3 月期第 1 四半期 | 4,547,246 株 | 21 年 3 月期 | 4,547,925 株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期連結累計期間） | 22 年 3 月期第 1 四半期 | 99,448,028 株 | 21 年 3 月期第 1 四半期 | 99,551,167 株 |

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- (1) 平成 22 年 3 月期の連結業績予想は平成 21 年 5 月 12 日に公表したとおりです。
- (2) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年6月30日）のわが国経済は、世界経済の減速を受けて、企業業績は大幅に落ち込み、設備投資の減少や雇用情勢の悪化など、依然として厳しい状況が続いています。

飼料畜産業界におきましては、配合飼料の主要原料であるとうもろこしは、新穀の作付け遅れや米国穀倉地帯の長雨等を材料にした投機筋の資金流入により相場は期央に再び上昇し、海上運賃も堅調に推移いたしました。一方、外国為替市場は円高傾向が継続しています。

畜産物につきましては、鶏卵・豚肉・牛肉相場は、いずれも低迷しました。

こうした環境にあつて当社グループは、畜産生産者の皆様の生産性に貢献する価値ある製品及び関連技術の開発に注力し、肉牛用飼料・豚用飼料を中心に販売数量の拡大を図りました。

しかしながら、配合飼料価格を本年1月に続き4月も値下げしたことから、売上高は295億5千3百万円（前年同期比18.0%減）となりましたが、営業利益は7億3千7百万円（前年同期比34.1%増）、経常利益は5億8千9百万円（前年同期比5.7%増）と、いずれも増益となりました。また、当四半期純利益は2億1千6百万円（前年同期比29.5%減）を計上しました。

事業別の状況は、以下の通りです。

飼料事業

飼料事業では、配合飼料の販売数量は肉牛用飼料・豚用飼料・水産用飼料等を中心に増加しましたが、売上高は、配合飼料価格を値下げしたことから、前年同期比19.6%減の204億1千6百万円となりました。しかし営業利益は、8億6千9百万円（前年同期比23.9%増）と増益を果たすことができました。

畜産物事業

畜産物事業では、豚肉や鶏卵を中心に畜産物相場が軟調に推移したことから、売上高は前年同期比14.5%減の91億3千6百万円となり、営業利益は1億2千9百万円（前年同期比14.8%減）と減益になりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の財政状況を前期末と比べますと、配合飼料製品価格が本年1月に続き4月も値下げしたことにより受取手形及び売掛金が2億3千3百万円減少しました。さらに、原材料及び貯蔵品等のたな卸資産が2億3百万円減少したこと等により、総資産は4億5千4百万円減少して、448億4千7百万円となりました。一方、負債は、短期借入金及び長期借入金あわせて15億9千8百万円減少したこと等により、322億6千6百万円となりました。純資産は3千9百万円増加して、125億8千1百万円となりました。

(2) 連結キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当四半期純利益5億8千9百万円及び減価償却費2億3千5百万円等により、18億3千5百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、設備投資に伴う固定資産の取得1億5千8百万円等により、1億6千6百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の減少12億3千万円、配当金の支払2億3千3百万円等により、17億2千7百万円の支出となりました。

これらの結果、現金及び現金同等物期末残高は、5億6千1百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期の連結業績予想は平成21年5月12日に公表したとおりです。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 簡便な会計処理

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

②繰延税金資産の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等及び一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

③固定資産の減価償却費の算定方法

連結子会社においては、固定資産の年度中の取得、売却又は除却等の見積りを考慮した予算に基づく年間償却予定額を期間按分する方法によっております。

なお、定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

2. 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用の計算

当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

1. 会計基準等の改正に伴う変更

該当事項はありません。

2. 1以外の変更

為替差額の計上方法について

「為替差額」については、従来、営業外損益に計上しておりましたが、売上原価をより適切に表示するため、当第1四半期連結会計期間より売上原価として計上する方法に変更しております。

これにより、従来の方法と比べ、売上原価が12百万円増加し、売上総利益及び営業利益がそれぞれ12百万円減少しております。なお、経常利益及び税金等調整前四半期純利益には影響はありません。

セグメント情報に与える影響については、当該箇所に記載しております。

5. 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	579	634
受取手形及び売掛金	20,392	20,625
商品及び製品	643	704
仕掛品	423	512
原材料及び貯蔵品	2,720	2,774
繰延税金資産	62	57
短期貸付金	363	339
その他	1,121	1,045
貸倒引当金	△42	△45
流動資産合計	26,264	26,647
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,183	2,195
機械装置及び運搬具（純額）	2,638	2,766
土地	2,718	2,718
建設仮勘定	202	101
その他（純額）	209	203
有形固定資産合計	7,953	7,985
無形固定資産		
その他	325	325
無形固定資産合計	325	325
投資その他の資産		
投資有価証券	3,877	3,762
長期貸付金	3,980	4,033
長期未収入金	4,560	4,174
破産更生債権等	545	541
繰延税金資産	2,827	2,935
その他	533	550
貸倒引当金	△6,019	△5,655
投資その他の資産合計	10,304	10,343
固定資産合計	18,583	18,654
資産合計	44,847	45,302

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,439	10,356
短期借入金	7,361	8,568
未払法人税等	369	132
賞与引当金	469	310
その他	3,922	3,131
流動負債合計	22,561	22,500
固定負債		
長期借入金	8,311	8,702
退職給付引当金	1,167	1,220
役員退職慰労引当金	138	265
その他	86	71
固定負債合計	9,704	10,259
負債合計	32,266	32,760
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,199	5,199
資本剰余金	4,947	4,947
利益剰余金	2,822	2,905
自己株式	△458	△458
株主資本合計	12,511	12,594
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	64	△62
繰延ヘッジ損益	1	6
評価・換算差額等合計	66	△55
少数株主持分	3	3
純資産合計	12,581	12,541
負債純資産合計	44,847	45,302

(2) 【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	36,061	29,553
売上原価	32,815	25,849
売上総利益	3,245	3,703
販売費及び一般管理費	2,695	2,965
営業利益	550	737
営業外収益		
受取利息及び配当金	65	36
その他	133	65
営業外収益合計	199	101
営業外費用		
支払利息	92	80
持分法による投資損失	37	90
その他	62	78
営業外費用合計	191	250
経常利益	557	589
税金等調整前四半期純利益	557	589
法人税等	250	372
少数株主利益	0	0
四半期純利益	307	216

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	557	589
減価償却費	219	235
引当金の増減額 (△は減少)	178	339
持分法による投資損益 (△は益)	37	90
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,704	△174
たな卸資産の増減額 (△は増加)	133	203
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,452	82
法人税等の支払額	△148	△118
その他	48	587
営業活動によるキャッシュ・フロー	△226	1,835
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△141	△158
有形及び無形固定資産の売却による収入	2	2
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
投資有価証券の売却による収入	—	9
短期貸付金の純増減額 (△は増加)	△5	△25
長期貸付けによる支出	△17	△60
長期貸付金の回収による収入	62	71
その他	△2	△3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△104	△166
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,370	△1,230
長期借入れによる収入	—	300
長期借入金の返済による支出	△752	△668
自己株式の売却による収入	—	0
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△224	△233
その他	0	104
財務活動によるキャッシュ・フロー	393	△1,727
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	62	△58
現金及び現金同等物の期首残高	491	619
現金及び現金同等物の四半期末残高	554	561

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

	飼料事業 (百万円)	畜産物事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	25,381	10,679	36,061	—	36,061
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	7	—	7	(7)	—
計	25,388	10,679	36,068	(7)	36,061
営業費用	24,687	10,527	35,214	296	35,511
営業利益(又は営業損失)	701	152	854	(304)	550

(注) 1. 事業区分は、製品・商品の種類及び性質を考慮した売上集計区分によっております。

2. 各事業の主要な製品・商品は下記のとおりであります。

飼料事業…鶏用・牛用・豚用・魚用飼料及びその他飼料等

畜産物事業…鶏卵・鶏肉・牛肉・豚肉・畜肉加工品及び加工卵等

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

	飼料事業 (百万円)	畜産物事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	20,416	9,136	29,553	—	29,553
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	11	—	11	(11)	—
計	20,428	9,136	29,564	(11)	29,553
営業費用	19,558	9,006	28,565	250	28,815
営業利益(又は営業損失)	869	129	999	(261)	737

(注) 1. 事業区分は、製品・商品の種類及び性質を考慮した売上集計区分によっております。

2. 各事業の主要な製品・商品は下記のとおりであります。

飼料事業…鶏用・牛用・豚用・魚用飼料及びその他飼料等

畜産物事業…鶏卵・鶏肉・牛肉・豚肉・畜肉加工品及び加工卵等

3. 「為替差額」については、従来、営業外損益に計上しておりましたが、当第1四半期連結会計期間より、売上原価に計上する方法に変更しております。これにより、飼料事業セグメントの営業利益が12百万円減少しております。

【所在地別セグメント情報】

本邦以外の国又は地域に所在する在外支店及び連結子会社がないため該当事項はありません。

【海外売上高】

海外売上高が連結売上高の10%未満であるため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。